

第1回 まるの会

ペットと暮らす高齢者について考える

～高齢者へもたらすメリット、デメリット～



2024年1月14日(日) 14:00～16:00

会場：徳泉寺

「まるの会」について

知ることからはじめよう！

高齢者がペットと**幸せ**に暮らすために、

将来どのようなことが必要なのか？

地域の人たちと連携をとるためには
どうしたらよいのか？



見えにくい問題を少しずつ紐解きながら

みんなが笑顔で暮らす社会にするために

みんな考えていく会です。

チマホマ社とわたしについて

チマホマ社 佐藤 真貴子



「殺処分ゼロを目標に！」と言っても
わたしたちにできることは何だろう…と、もやもや。

飼い猫を去勢避妊をせず、お外に出して飼っていたり、
地域猫活動のことを知らなかったり、殺処分の現実など…
まだまだ「**大事なこと**」を知らない人は、たくさんいます。

チャリティをする事で、誰かのお役に立てると実感できたものの、
わたしたちにはまだ出来ることがある…

それは、**「伝えること」**。

動物は好きだけど現実を知らない誰かに…
特別好きではないけど命の尊さを知っている誰かに…
動物の為にがんばっている人がいることや

まだ知らない大切なことを… **「伝えること」**。

多くの方に興味を持っていただける存在になれるよう、
活動をしています★

「**伝えること**」で
変えていきたい!



今日お話しすること

1.猫に起きている今を知ろう

- ① 猫の繁殖力
- ② 殺処分について
- ③ 動物愛護ボランティアについて
- ④ 高齢者への譲渡

2.高齢者にもたらすペットのメリット

ペットとの生活で得られる効果について

3.高齢者が抱えるペットの問題

- ① 後見人問題
- ② 多頭飼育崩壊問題
- ③ 飼い主としてのQOL（生活の質）
- ④ 相談経路

4.高齢者と関わりを持つ各職種の方への聞き取りした事例

- ① 介護福祉施設ケアマネージャー
- ② 居宅ケアマネージャー
- ③ 地域包括支援センター（都市部）
- ④ 大崎市のケアマネージャー

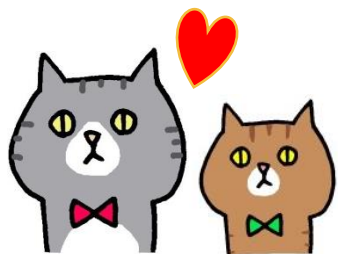
5.まとめ

今の問題を知って、
「これから」を
みんなで考える！



1.猫に起きている今を知ろう

① 猫の繁殖力

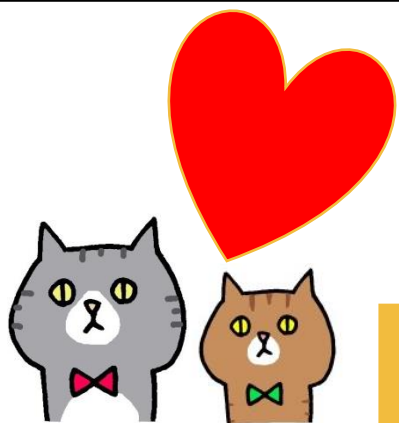


3年後



1.猫に起きている今を知ろう

① 猫の繁殖力



3年後



1.猫に起きている今を知ろう

② 殺処分について

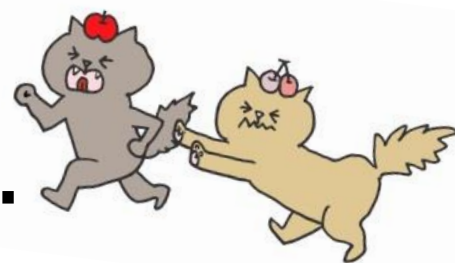
法改正のたびに計画も見直され、着々と殺処分数が減っている。

世の中が**愛護**に向けて風向きが**変**わり始めると、

ボランティアが**増**え、助かる命も**増**える！

でも…

未だに仔猫が保健所に引き取られ、
全頭譲渡とはならず、殺処分や
収容中死亡となっています…

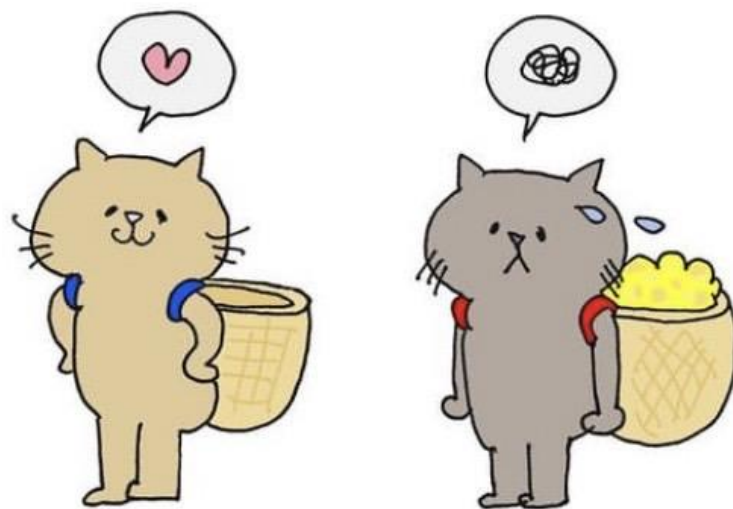


1.猫に起きている今を知ろう

③ 動物愛護ボランティアについて

- ・ 仔犬・仔猫の預かりボランティア
- ・ 野良猫に関するボランティア
- ・ シェルターボランティア
- ・ 災害時動物救護ボランティア
- ・ 譲渡ボランティア

など…



ボランティアの方々の活動なしには、
「殺処分ゼロ」は絶対にありえない！

1.猫に起きている今を知ろう

④ 高齢者への譲渡

ペットショップにおいて、
後見人確認を行う例は…

少ない。



2. 高齢者にもたらすペットのメリット ～ペットとの生活で得られる効果～

ペットと暮らすと…

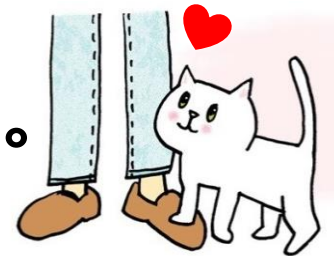
♡ 「幸せホルモン」 である「オキシトシン」が分泌される。

●わんこ → 目が合うだけで分泌される。

●にゃんこ → 撫でると分泌される。



「ゴロゴロ」音が副交感神経を優位にする。



「社会的効果」…人間関係が拡充。

「身体的効果」…生活意欲が向上。運動や外出の機会が増加する。

「心理的効果」…他者との交流の一部を代替し、孤独感を軽減。
生きる励みとなる。

3. 高齢者が抱えるペットの問題

① 後見人問題

家族の一員であるペット。

「自分が何かあってから」考えるのでは **遅い!**



自分に何かあった時、命を守るための

「後見人」 について、

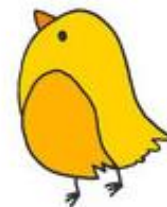
事前に親族で話し合ったり、

専門家に相談してみませんか。

3. 高齢者が抱えるペットの問題

② 多頭飼育崩壊問題

飼い主の「**経済的困窮**」や「**社会的孤立**」が複雑に絡み合っていて、「人」と「動物」と分けて解決することは困難…。



飼い主の中には支援を必要とする人も多く、動物虐待の罰則を適用することが、問題の解決ではない。

動物愛護管理分野だけの対応ではなく、社会福祉分野の行政職員や専門家等と**連携した施策展開**が必要。

3. 高齢者が抱えるペットの問題

③ 飼い主としてのQOL (生活の質) Quality of life

「飼い主としての意識」 をあげることが重要

- **犬猫の特性を知る**
- 避妊去勢手術の必要性
- 病気の場合は医療にかける など...



3. 高齢者が抱えるペットの問題

④ 相談経路

ボランティアさんに
頼りっぱなし...

明確に相談経路が決まっていないため、
みんなが困っている状態…。



多職種で連携を図り、
相談経路を確立させておく必要がある

4. 高齢者と関わりを持つ

各職種の方への聞き取りした事例

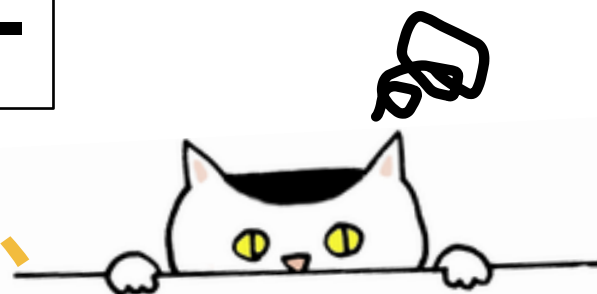
① 介護福祉施設ケアマネージャー

② 居宅ケアマネージャー

③ 地域包括支援センター（都市部）

④ 大崎市のケアマネージャー

対応箇所が決まっておらず、
対応者の動き方によって異なる現状…



5.まとめ

さまざまなケースがありますが…

これからの「まるの会」でも、



「みんなが笑顔で暮らす社会にするために」

よりよい方法を

みんなで考えていきたいと思います★